

地方創生の課題諸相

海外における地方創生
ーイタリアの事例ー

小畑きいち

地方創生—海外事例の視点から→イタリアの地場から考える

▲イタリア・地方における歴史地理的特徴

- ・コムーネ(地域自由自治体)慣習・伝統など継承
- ・多極・分散自治行政体
- ・南北格差(都市国家、教皇領、両シシリア王国など歴史系譜が起因)
- ・2001年における大幅な地方への自治権移譲

▲イタリアにおける地方創生:産業とツーリズム(コムーネ伝統を活かす)

・地方産業

伝統美術工芸・ファッション・デザイン・ブランド
伝統職人産業、地域地場産業クラスター形成

・ツーリズム

歴史観光(ローマ帝国・ルネサンス・都市国家などの史跡)
長期滞在ツーリズム(都市観光、田園滞在、食文化、クルーズ)

●イタリア・地方における地場中小企業の特徴

- ・エンドユーザー向けの事業に重心(下請け受注は回避)
- ・中央政府や自治体による保護支援政策が少ない
(個人中小など地場産業による協働企業組合・クラスター形成)
- ・ブランド・デザイン指向が強い
- ・商品価格支配力の確保維持
- ・最終工程は国内を基本としブランド力保持

●地方創生事例(ツーリズム関連)

・事例1、トレンティーノ・アルトアディジェ州

・事例2、トスカーナ州

都市と田園を結ぶ長期滞在型ツーリズム指向

Agriturismoによる自然回帰派ツーリストの呼び込み

人工的に歴史景観の維持管理

魅力的な地産食の提供

都市部へアクセスの容易を活かし都市と田園観光を兼ねる

長期滞在型指向ツーリズムの広範なツーリスト層に提供

●地方創生事例(地場産業の振興)

・事例1、デザイン・コミュニティ・クラスター形成

ロンバルディア州、トスカーナ州・・・

・事例2、中小企業職人企業による機械産業のクラスター形成

フードビジネスクラスター形成

エミリヤ・ロマーニャ州・・・

◎イタリア地場産業の特質は

- ・地域の特質を生かしたコンセプト概念を設定
- ・取引は垂直型より「水平型取引」傾向が強い
- ・産業クラスターの形成
- ・地域における自立協働体制
- ・コーディネーターの存在
- ・国際市場に焦点
- ・多種少量生産傾向
- ・デザイン、ブランド指向
- ・商品価格設定力を保持
- ・中小企業の高い企業性

◎提言

地方からのJ-Local Brandingのために：

- ・産業・自立のために明治レジームからの脱却（中央集権からの離脱）
- ・地方創生のために自立分散指向マネジメントへ
- ・基礎自治体と地場産業により協働化と企業性の向上
- ・取引形態の水平型へ（下請けビジネスからの脱却）
- ・柔軟な思考のコーディネーター、専門家育成
- ・国際市場指向のマーケティング
- ・独自性、デザイン性、ブランドを高め、技術の保持に努める
- ・前例・因習を打破する